

まつぼっくりぐみだより 5月号

小鳥のさえずりとともに、子ども達の元気な声が園中に響き渡っています。5月は、緑がとても美しい季節です。この美しい自然の中を駆け回り、色んな物を発見し楽しんでいきたいと思います。また、温かくなってくるので、水や泥遊びも楽しんでいきたいと思います。

5月の行事

- 2日(木) ギョウチュウ検査提出
- 9日(木) 火災訓練
- 11日(土) 親子ふれ合い交流会
- 17日(金) 交通訓練 食育の日
- 24日(金) お楽しみ会
- 29日(水) 遠足・お弁当の日

☆お知らせ・お願い☆

* **2日(木)はぎょう虫検査の提出日**となっています。宜しく願います。

* 毎日**水筒**を持たせてください。

* 絵本の貸し出しを始めます。希望者のみの貸し出しとなっております。

5月の絵本

- ・こいのぼり
- ・ばったのびよんこちゃん
- ・どろだんごつころう
- ・おおきなかぶ

♪5月の歌

- ・こいのぼり
- ・チポリーノのぼうけん
- ・はたけのポルカ
- ・つばめ
- ・子どもの日の歌

4月生まれのお友だち



★ひのくま たろう君 (4月3日生まれ)

虫を見つけると「図鑑で調べてみようよ」とみんなに声を掛けて「あっこれじゃない」といろんなことに興味を膨らませて発見した喜びを楽しんでいます。4月のお楽しみ会ではみんなの前で論語を発表し、部屋に戻るとまつぼっくりのみんなに論語を教えてくださいました。

5月生まれのお友だち



★むらもと いなさん (5月14日生まれ)

お友達が困っていると「どうしたの?」「りなちゃんがしてやろうか」と優しく声を掛けて手伝ってくれます。ブロックなどの片付けも進んでおこない「ここにおいて」とみんなに教えてくださいました。相手の気持ちを考えて優しく声を掛けてくれる思いやりの心が素敵です

<<基本的な生活習慣>>

■食事

まつぼっくりさんになって全員がお箸で食事をしています。食事中にお箸の握り方を手を添えて教えながら、正しく握れるように配慮しています。

正しく握ることで、食べる姿勢や味わい方も違い、鉛筆の握り方や、筆圧にもつながってくると言われて



います。しかし、実際にはお友だちとの食事はやはり楽しい時間。ついついおしゃべりに夢中になって持ち方が変わってしまったり、ご飯粒が集めにくい時には力が入ったりしています。そんな時は「○○さんの持ち方上手だね。みんなはどうかな?」と声をかけ、気付くことでお箸の持ち方への意識を持てるようにしています。お箸の持ち方で難しい様子が見られるのは、中指の置き方です。人差し指と中指が上のお箸並ぶ持ち方がみられます。「先生こう?」「どうだったっけ?」と自ら確認しながら、持ち直そうとする意欲が見られますので、ご家庭でも正しいお箸の握り方を気長に教え

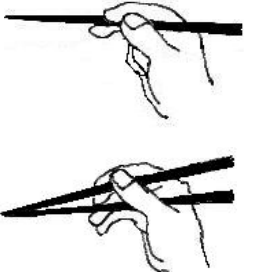
て頂ければと思います。子ども達の意欲を大切にしながら、少しずつ正しく持てるようにしていきたいです。スプーンの握り方はお箸と同様に親指、人差し指、中指で支えて食事をします。ご家庭でお子さんのお箸の握り方を見て正しく持つ事が難しい様であれば、スプーンを持たせて正しさを確認する事も良い事だと思いますので宜しくお願いします。

お箸の持ち方をご紹介します。

<お箸の持ち方>

①箸を図のように指3本で持って見ます。そして、簡単な字などを、書いてみてください。簡単にかけるとおもいます。これが上の箸の使い方です。

②次に後の方から、下の箸を入れてください。親指の付け根にのせ、箸の先3分の一くらいの所を、中指の第一関節にあてます。この箸はその位置で固定し動かしません。



■排泄

活動の合間に排泄に行くようにしています。和式トイレの使い方にも少しずつ慣れてきました。まだ不安を示す子どもには、そばについてあげることで安心して排泄できるようにしています。遊びに夢中になっていたり、ズボンやパンツをしっかりと下ろせず、濡らしてしまうこともあります。失敗することを気にせず、次へと切り替えられるよう「大丈夫だよ。濡れたら着替えたらいよいよ!」と声をかけていきます。排便後は一度自分で拭くことにチャレンジします。前から後ろへと拭くように伝え、保育者が仕上げに拭いています。何でも最初は上手いかないけれど、失敗を気にせず自分でやってみようと思える環境の中進めていこうと思います。

■睡眠

布団を敷く時間がくると、「先生、お布団手伝ってあげようか?」と一人前意識の子ども達が手伝ってくれます。重い布団の時は「ボクもしてあげる!」と力を合わせて運んでくれます。運んだ後は布団を並べ広げるところまでしてくれるお友だちもいます。時間はかかりますが【自分でできたんだ】と自信につながる時間として取り組んでいます。眠りにつくときは静かな雰囲気の中、保育者がそばにいて安心して眠りについています。

■着脱

なるべく手伝わず「自分でできる」ことを基本に着脱をしてきました。なかなか、袖を上手に引っ張って脱ぐ事が難しく、「手伝って」「してください」言ってくる時もあります。そんな時は袖口の方だけ一緒に持ってあげて自分の力で引っ張る事ができるように配慮しています。衣服が身体にピッタリとくっついてしまう服は自分で着脱がしづらい様子なので、できるだけ自分で着る、脱ぐができるような服の方が自律につながるかと思えます。脱いだ後の衣服の始末についても、たたむ習慣が身につくように声をかけていこうと思います。次にしたいことがあるとどうしても慌てがちになりますが、自分の物を大切に扱う気持ちを持てるようにしていきたいと思えます。

■清潔

食後に歯磨きを始めました。歯磨きは子ども達も楽しみにしている時間のひとつです。保育者が磨いている様子を見ながら、「次は奥歯。次は前だよ。」とまねっこをしながら自分で磨きます。その後は、保育者に





よる仕上げ磨きです。ひとりひとり仕上げをしていきます。うがいをする時は、自分でうがいに行きます。うがい＝ガラガラのイメージが強いようについてガラガラとしてしまいがちでしたが、「バイキンをブクブクうがいで出すんだよ。」と教えてもらいながらうがいに取り組んでいます。

●身体づくり

保育園では、身体作りも大切にしています。なぜ大切なのか？それは身体作りが色々な面に影響しているからです。近頃は姿勢の悪い子が目立ってきたと言われていています。『気をつけ』の姿勢（最も重心の位置を高くして静止した直立姿勢）をとった時に膝が少し曲がっていたり、腰が引けていたり、背中が丸まっていたりすることがあります。これは、どれも直立姿勢をとった時に本来の重心の位置より、重心の位置が下がってしまっているという状態です。直立姿勢に弱さがあると直立二足歩行にも歪みが出てきます。また、重心が安定せず、立っているときに身体がゆらゆら揺れてしまったり、姿勢がすぐ崩れてしまう等、姿勢を保持する力が弱いという姿も見られます。これは、脳の活動にも影響してくる全身を支える筋肉（抗重力筋）が弱いという状態です。年間を通して、身体を使った遊びを楽しみながらしなやかな身体作りに取り組んでいきたいと思えます。

★リズム

まつぼっくり組になり、お兄さんお姉さんに交じってリズムに取り組み始めました。お兄さんお姉さんたちのダイナミックな動きを、憧れの眼差しで見ている子ども達。「お兄さん、お姉さんみたいに」と身体を一生懸命動かして楽しんでいます。まつぼっくり組になったら、発達年齢やその子の育ちに合わせて一つの動きに、「手を高く上げてみよう」「つま先で歩いてみよう」と課題を持って取り組んでいます。

★階段や斜面の上り降り

かかどで支える力、つま先（親指）で蹴る力が付くように、散歩の中にも階段や坂道のコースを意図的に選んで歩きました。かかどで支える力や親指で蹴る力は正しい歩き方、あおり動作にもつながっていきます。「昨日のタケノコまだあるかな？見に行こう！！」「山のお堂山でかくれんぼしよう」と楽しみを持って歩いていきました。

●ごっこ遊び



絵本『ぼったのびよんこちゃん』の世界で遊びました。びよんこちゃんになって散歩に行ってみよう！！とみんなで出かけました。生まれたばかりのびよんこちゃんは楽しいこともあるけれど危険がいっぱいです。途中にはきれいな花やお友だちのてんとう虫などを見つけて触れ合い遊びました。楽しいこともたくさんあるけれど危険もいっぱい…天敵の鳥やクモがいると「食べられるー」と必死で逃げたり「草のふりをしよう」と草に化けたりしながら敵から逃れる子ども達です。ドキドキわくわくしながら『びよんこちゃん』の世界を楽しんでいます。

●作って遊ぼう

*折り紙遊び～

課題を持っての折り紙遊びに挑戦しました。4月は、お散歩のときに見て、香りや色そして歌ったりして楽しんだちゅうりっぷの花を折りました。手指の動きはもちろん、「三角に折って、何の形に見えるかな・・・」といろんな形があることを知ったり、その形から色々な物をイメージして楽しみながら折りました。

出来たちゅうりっぷはお部屋の壁にかわいく咲いています。

*こいのぼりをつくろう

ぶどうさんがこいのぼりを作っているのを見て、「まつぼっくりさんもつくりたい」と楽しみにしていました。こいのぼり作りでは、ハサミの一回切りとのり貼りに挑戦しました。うるこの色は5色の中から自分の好きな色を選び「お母さんこいのぼりー」「僕はおとうさんー」と楽しみながら作りました。また「これ

くらい？」と糊をつける量を気にしながら、糊つけをしていた子ども達です。とてもかわいいこいのぼりが出来上がりました。

●集団

簡単なルールが解り始める3歳時児さん。わらべ歌の『おちゃを飲みにきてください』や鬼遊びの『しっぽとり』などルールのある遊びも楽しみました。しっぽとりでは、初めは保育士が鬼をしました。「まてー」と追いかけると「きゃー」と楽しんで逃げ回っていました。追いかけることを楽しむと次は「僕がおにしたい」と自分たちもしっぽを付けてみんなで追いかけてました。追いかけたり、追いかけられたりして沢山走って楽しみました。

●自然



*これは何の虫？

散歩の途中で、てんとう虫の赤ちゃんを発見しました。「みてみて！！これなんだと思う？」という「ありさん？」「かぶとむし？」「何だろう」と子ども達。「保育園に帰って調べてみようか？」とビニール袋に入れて持ち帰りました。みんなで「何かな？」と図鑑を見ながら調べると「あっこれじゃない」とみつけ「てんとう虫の赤ちゃんだー」「てんてんちゃん」とわかって「でも全然違う」と不思議そうな子ども達でした。

*バッタのぴよんこちゃん

温泉広場で遊んでいると「なんか虫がいる」ぴよんと飛びあがっているバッタの赤ちゃんを見つけました。「バッタがいたよ」と声を掛けると「えっどこどこ」とすぐに逃げて行ってしまい捕まえることはできませんでした。数日後どんぐりさんが「この虫まつぼっくりさん知ってる？」と捕まえてきた虫を見せてくれました。絵本『バッタのぴよんこちゃん』を見ていたので「これバッタだよ。バッタのぴよんこちゃんじゃない」と教えていました。「みんなにどうしようか」と聞いてみると「育ててみたい」との声があがりまつぼっくりさんで育てることにしました。「でも一人じゃかわいそう」「お友達が欲しくて言いよらす」とぴよんこちゃんの気持ちになり考えみんなでお友だちを探しに行きました。「ぴよんこちゃんどこー」とみんなで呼びかけ草の下を探し、茶色の小さい赤ちゃんバッタを捕まえました。「このバッタ黒い色してる」「ぴよんこちゃんの色が違うね」と色の違いにも気が付き一緒に育てることにしました。



*ぶどうさんの玉ねぎ収穫

ぶどうぐみさんの玉ねぎ収穫を見に行きました。「ここを持ってとるんだよ」「大きいのがとれたー」とまつぼっくりさんにも見せてくれました。お兄ちゃんお姉ちゃんのとりにたての玉ねぎを持たせてもらい「匂いがする」と大喜びでした。そのあと玉ねぎが給食で出てくると、「これぶどうさんがとらしたもんね「おいしいー」と、とれたての玉ねぎの味をあじわって食べていました。



●食育

*グリンピースの豆ごはん～

絵カードを見て順番を見ながら自分たちでお米を洗ってグリンピースの皮をむき豆ごはんを作りました。「おかあさんいつものよらす」と米を洗うときには少し得意げに混ぜていました。材料を入れて炊飯器のスイッチを入れるときには「おいしくなーれ1・2・3」とみんなで魔法をかけて押しました。出来上がると豆が苦手だった子も「おいしい」とお代わりをして食べていました。自分たちで作ったご飯は特別おいしかったようです。他の先生たちにも配り「すごくおいしかったよ」と褒めてもらおうととても嬉しそうに誇らしげな子ども達でした。



●描画



描く前に「今日は何して遊んだかな？」と楽しかったことを子ども達とお話してから、マーカーを渡し、保育士と会話を楽しみながら描いていきます。会話をしながら描いていくことで、子ども達が頭に浮かべた事を絵に描きやすくなります。まだ、3歳児さんは、途中で話がそれてしまう事もありますが、繰り返し取り組んでいくことで、課題を持って描く力、そして自分の思いを絵にのせて言葉で表現する力がついていければと思います。

今月は、松村さくらさんの絵を紹介します。

『さくらちゃんはね、バッタだった。ぴょんこちゃんはねあるよ。くさとりましたって言ってる』とバッタが手を使って草を食べているところを描いていました。お散歩を楽しんでいる姿が伝わってきます。

●今月の詩



子どもの頃に優れた名文と出会い、それを覚え、身体に染み込ませることは、その後の人生に莫大なプラスの効果を与えてくれます。朗読することによって、その文章やセリフをつくった人の身体のリズムやテンポを、自分の身体で味わうことができます。それだけでなくこうした言葉を口ずさんで伝えてきた人々の身体をも引き継ぐこと

になります。世代や時代を超えた身体と身体とのあいだの文化の伝承がこうした暗誦・朗読を通して行われるのです。
*4月は、詩『たんぼぼ』を朗読してきました。

保育者が言った後にまねっこをして言っています。おーいと呼びかけるところが大好きで大きな声で言っています。散歩先でタンポポを見つけると自然に詩を口ずさんでいました。

*5月は、詩『あいさつ へびいちのすけ』の朗読をしています。

たんぼぼ
川崎 洋
たんぼぼが
たくさん飛んでいく
ひとつひとつ
みんな名前があるんだ
おーい たぼんぼ
おーい ぼぼんた
おーい おんたぼ
おーい ぼたぼん
川に落ちるな

あいさつ へびいちのすけ
工藤直子
さんぽをしながら
ぼくは しっぽに よびかける
「おおい げんきか」
すると むこうの くさむらから
しっぽが ハキハキ へんじをする
「げんきびんびん」
ぼくは あんしんして
さんぽをつづける

◆お当番活動

前日の帰りの会でお当番さんを発表すると「やったー」ととても楽しみにしている子ども達です。一人前意識の3歳児さんにとって、人の役に立つことが出来るお当番活動は、自分が輝ける活動なのでどの子も大好きです。まっぼっくりさんになって、グループを決めグループ内当番をしています。給食のときは、各グループからその日のお当番さんが出てきて、グループの友達の為に給食を配ってくれます。初めは、違うグループに配ってしまったりもしていましたが、子ども達同士で教え合っていくうちに自分のグループだけに配れるようになりました。お当番活動は、人とかかわりだけでなく、一人に一つずつ配っていくことで、人と物を一対一対応させて数を意識しながら取り組んでいます。

●歌

ピアノない散歩先でも、タンポポやたけのこを見つけると「たけのこのこのこ」と自然に口ずさんでいる子どもたち！！一人が歌い始めるとその輪がみんなに広がりたちまち大合唱になっています。歌をうたう心地よさを味わっています。

5月の目標

ねらい・園生活の一日の流れや生活の仕方がわかるようになる

- ・楽しい雰囲気の中、食事ができるようにする
- ・好きな遊びを見つけて友達同士遊ぶ

基本的 生活 習慣	食事	・お皿に手を添えて食べることで、こぼす量が減ってくる ・はし使い、3指持ちを意識して持つようにしていく
	排泄	・トイレの使い方（スリッパのをきちんと並べる） ・和式トイレにも慣れていく ・自分で拭く（前から後ろ）
	着脱	・脱いだ服をたたもうとする ・衣服が汚れたらじぶんで着替える ・自分で着脱をしようとする
	睡眠	・早寝、早起きに協力してもらう。 ・一定時間ぐっすり眠り、気持ちよく目覚める
	健康・清潔	・乾布摩擦に取り組む ・歯磨きの仕方を見直す ・健康教育
遊び ・ 課 業	労働	・グループ内当番で給食の配膳 ・お手伝いを喜んでしようとする
	身体づくり	・しっかり歩く ・鉄棒にぶら下がり足をあげようとする ・天狗ゲタ、肋木 ・階段登り
	リズム	・両足ケンケン ・スキップ ・きりん（つま先歩き、かかと歩き） ・アヒル ・うさぎ ・ブリッジ ・カメ・メダカ ・なべなべ
	手指探索	・お弁当包みを自分でする ・粘土で遊ぶ ・折り紙『いちご』 ・時計作り
	描く	・一対一で会話をしながら描く ・楽しかったことを思い出し、話しながら描く
	言語・認識	・帰りの会や朝の会での友だちの話を聞こうとする ・自分の思いを語ろうとする ・左右、前後に気づき始める ・挨拶をする「おはよう」「こんにちは」「おやすみなさい」「さようなら」
	絵本	『バッタのぴょんこちゃん』『どろだんごつころう』『おおきなかぶ』 ・友達と一緒に絵本の世界のごっこ遊びを楽しむ
	音楽	『こいのぼり』『チポリーのの冒険』『ありさんのおはなし』『こどもの日』 ・友達と一緒に歌うことを楽しむ
	集団	*簡単なルールのある遊びを楽しむ *2人組の遊びが楽しくなる 『しっぽとり』『なべなべ』
自然	*春の自然に気づく（てんとう虫、わたげ、しろつめ草など） *色んな発見の中で、なんでだろう？どうなっているのだろうと子ども達の不思議に思う気持ちに寄り添っていくことで探究心を育てていく	